

科目名	ウェディングセレモニー論A						
科目名(英)	WEDDING CEREMONY						
単位数	2		時間数	30時間		担当者	中村 直輝
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場:ウェディングプランナー(8年) バンケットキャプテン(3年)
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年						
授業概要	2年次のブライダルコーディネーター技能検定(国家資格)に向けて、ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式や披露宴の基礎知識を身に付ける。						
授業形式	講義: ○		演習: △		実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ブライダル(婚礼)の定義・成り立ちを知り説明する事ができる。	
	○	○				ブライダルビジネスの関連業種及びエリア特性を知り説明する事ができる。	
	○	○				日本国内の結婚式と欧米での結婚式それぞれの特徴を学び説明ができる。	
	○	○				見合い・結納など結婚式を取り巻く関連儀式的理解を深め説明ができる。	
	○	○				挙式の形式と流れを知り新郎新婦の要望に合った提案及び説明ができる。	
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード> ブライダル用語辞典						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	国家資格についての説明・LESSON1婚礼の定義について					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	2	LESSON1婚礼の定義について					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	3	LESSON2ブライダルビジネスについて					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	4	LESSON2ブライダルビジネスについて					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	5	LESSON2ブライダルの関連業種・エリアの特性について					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	6	LESSON2ブライダルの関連業種・エリアの特性について					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	7	LESSON3見合い・婚約・結納について					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	8	LESSON3見合い・婚約・結納について					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	9	LESSON3挙式の形式:キリスト教式・神前式					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	10	LESSON3挙式の形式:キリスト教式・神前式					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	11	LESSON3挙式の形式:仏前式・人前式					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	12	LESSON3挙式の形式:仏前式・人前式					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	13	LESSON3披露宴・海外ウェディングについて					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	14	LESSON3披露宴・海外ウェディングについて					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	15	前期試験対策(LESSON3までのまとめ)					14コマまでの復習をしておくこと
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)毎回小テスト(筆記)を実施する。(3)レポート提出(理解度確認) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎		◎		30%
	レポート提出	◎	◎		◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ブライダルメイクA						
科目名(英)	Bridal make A						
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	武田 真希
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	ヘメイク・着付け・エステ
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年						
授業概要	ブライダル業界に必要なメイクアップやヘアメイクに関する知識を学び、その価値を認識するとともに、社会人としての基本的なセルフヘアメイクの習得を目指す。						
授業形式	講義：△		演習：	実習：	実技：○	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				メイクにおける基礎知識を覚える。	
			○			顔のパーツごとに適切なメイクを施すことが出来る。	
			○			シニヨン、夜会巻き等、ヘアスタイルを綺麗につくることが出来る。	
			○			メイク・ヘアを時間内にトータルで綺麗に仕上げる事が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	メイクの基本理論・ベースメイク理論				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	ベースメイク実践・アイブロウ理論、実践				前回のプリントを復習しておくこと	
	3	アイブロウ復習・アイメイク理論、実践				前回のプリントを復習し、各自練習しておくこと	
	4	アイメイク復習・リップ、チーク理論、実践・ヘア理論				前回のプリントを復習し、各自練習しておくこと	
	5	ヘア実践(シニヨンの種類と作り方、夜会巻きの作り方)				ヘアで使用する物を準備しておくこと	
	6	ヘア実践(シニヨン、夜会巻き 復習)				各自練習しておくこと	
	7	ヘアとメイクをトータルで仕上げる				各自練習しておくこと	
	8	トータル仕上げ、評価				各自練習しておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)復習実技テスト実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験		○	◎	○		100%
履修上の注意	授業に必要なものの忘れ物が無いように						

科目名	メイクアップ検定対策						
科目名(英)	Make Up License						
単位数	2		時間数	30時間	担当者	倉持 ゆき子	
実施年度	2021		実施時期	前期	担当者実務経験	メイクアップアーティスト・アドバイザー	
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科1年						
授業概要	ブライダル業界に必要なメイクアップに関する基本的な知識を学び、その価値を認識するとともに、日本メイクアップ技術検定試験(セルフメイク検定および日本メイクアップ知識検定試験ベーシック)の取得を目指す。						
授業形式	講義: ○		演習: ○		実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					知識検定試験ベーシックの内容を元にスキンケアにおける基礎知識を覚える。	
	○					知識検定試験ベーシックの内容を元にメイクアップにおける基礎知識を覚える。	
		○				自分自身の顔に適切なスキンケア・メイクを施すことが出来る。	
		○				なりたいイメージを想定し、自分自身の顔にイメージ通りのメイクを施すことが出来る。	
		○				セルフメイク検定試験の課題メイクを時間内にトータルで綺麗に仕上げる事が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	JMAセルフメイクの教科書(※JMAベーシック検定試験内容を含みますので、知識検定ベーシックの教科書は不要)・日本メイクアップ知識検定ベーシック公式問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	メイクの基礎理論・メイクアップツール・顔の成り立ち				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	皮膚の基礎理論・スキンケア理論・スキンケア実践				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	基本のメイクアップ理論・ベースメイク実践				実技を復習し、各自練習しておくこと	
	4	基本のメイクアップ理論・フルメイク実践				実技を復習し、各自練習しておくこと	
	5	なりたいイメージメイク実践・修正メイク実践1				実技を復習し、各自練習しておくこと	
	6	なりたいイメージメイク実践・修正メイク実践2				実技を復習し、各自練習しておくこと	
	7	知識検定試験ベーシック模擬試験				公式問題集を事前に解いておくこと	
	8	セルフメイク検定模擬試験、トータル仕上げ、評価				実技を復習し、各自練習しておくこと	
	9	セルフメイク検定模擬試験対策①					
	10	セルフメイク検定模擬試験対策②					
	11	セルフメイク検定模擬試験対策③					
	12	メイクアップ知識検定対策①					
	13	メイクアップ知識検定対策②					
	14	メイクアップ知識検定対策③					
	15	メイクアップ知識検定対策④					
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)復習実技テスト実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○		◎		70%
	小テスト	○	○		◎		30%
	宿題・レポート	○	○		◎		
	発表・作品						
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。 演習が中心の為、忘れ物がないよう注意						

科目名	ブライダルフラワー I A						
科目名(英)	Bridal flower I A						
単位数	1		時間数	15時間		担当者	東 まゆみ
実施年度	2021		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーター勤務
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科1年						
授業概要	生花の取り扱い方法を学び、行事に合ったアレンジや、TPOに合わせたアレンジができるようになる。 また、アートフィッシュフラワーを使ってヘアコサージュ、ブートニアの作り方を学ぶ。						
授業形式	講義: △		演習: ○		実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	△					生花の取り扱い方、花に合わせた水揚げの種類と方法を学ぶ。	
		○				上記を学び、実際にTPOに合わせて花材や花器を選ぶことができるようになる。	
		○				学内の指定された場所に合わせたアレンジができる。	
		○				行事の花(母の日)のアレンジができる。ヘアコサージュ、ブートニアが作れる。	
				○		積極的に作業に取り組むことができる	
テキスト・教材 参考図書	ブライダル装美と演出・生花・造花・ワイヤー・フローラルテープ/BFCA公式テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	シラバス、テキストの説明。ブライダル実習室の使い方、道具の説明。					レストランやホテルなどにどのように花が活けてあるか意識して見る
	2	場所に合わせたアレンジのやり方 I					活けた花の管理をする
	3	花の種類による水揚げ方法、花と色の関係を学ぶ。/中間小テスト					復習する
	4	行事の花(母の日)フラワーアレンジ作成					
	5	場所に合わせたアレンジのやり方 II					活けた花の管理をする
	6	大きさによるワイヤーのかけ方の違いを知り、ヘアコサージュを作成する。					
	7	ブートニアについてを学び、ブートニア、ポケットチーフの使い方を学ぶ					
	8	アートフィッシュフラワーによるブートニアを作る/まとめテスト					復習しておく
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)作った作品を発表し、評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(2回)	◎	○				30%
	発表・作品		◎		○		70%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、評価は不可とする。						

科目名	ブライダル接遇演習ⅠA						
科目名(英)	Bridal skill proficiencyⅠA						
単位数	1		時間数	15コマ		担当者	島崎 満美子
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	ウエディングプランナー歴19年 ドレスコーディネーター歴3年
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	社会人として好感を持たれる態度や話し方、社会人として求められる心構え・マナーを身に付ける。またブライダルカウンターにて、婚礼予約のカップルを来店からご契約まで担当することを想定し、一連の業務に必要な知識、話術、顧客対応の基本を学び、お客様の対応がスムーズにできるようになる。						
授業形式	講義：△		演習：○		実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○		○		相手の立場になって考え行動できる。	
			○			シチュエーションによるお客様との会話ができるようになる	
	○	○				適切な敬語を使えるようになる。	
	○			○		好感の持たれる態度や話し方・聞き方ができる。	
テキスト・教材 参考図書	実践ビジネスマナー						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	ブライダルでの当日の現場業務					
	2	当日のアクシデントの対処方法					
	3	言葉遣いの応用					
	4	新規接客のデモストレーション(実践)					
	5	当日のアテンド					
	6	テーブルセッティング					
	7	婚礼料理について					
	8	総まとめ					
	評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)復習実技テスト実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
実技試験			○	◎	○		50%
復習実技テスト			○		◎		50%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	カラーコーディネート演習A						
科目名(英)	Color coordination exercise A						
単位数	1		時間数	15時間		担当者	吉田 浩子
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	日本カラリスト協会
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	身の回りの色に興味を持ち、パーソナルカラーの特徴を理解する。実習をととしてアンダートーンの違いや、その人に合う色を見極める力を養う。						
授業形式	講義: ○		演習: △		実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					パーソナルカラーの基礎になる色の三属性やCUS表色系を理解することが分類できる。	
	○					肌のしくみ、髪の毛のしくみ、目の構造を説明できる。	
		○				パーソナルカラーの診断において、肌写りや目の輝きなど見極めることが出来る。	
		○				パーソナルカラーを分類しメイクやファッション、インテリアなどの配色に活かすことが出来る。	
		○				パーソナルカラーのプレゼンテーション力を身につけることが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	パーソナルカラリスト検定3級テキスト・カラーカード・COLOR Arrangement						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	パーソナルカラーとは					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと
	2	肌・髪・目のしくみ					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと
	3	パーソナルシーズンの特徴					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと
	4	パーソナルカラー診断1					課題プリント
	5	パーソナルカラー診断2					課題プリント
	6	パーソナルカラー診断3					課題プリント
	7	パーソナルカラー診断4					課題プリント
	8	パーソナルカラー診断まとめ					課題プリント
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期テスト	◎	○				60%
	宿題・レポート	○					20%
	発表		○		○		20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	レストラン・バンケット演習						
科目名(英)	Restaurant service exercises						
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	中村和雄先生
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場にて従事
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年						
授業概要	実習で通用する能力を身に付けるにあたり、料飲部門にて必要な専門知識や技術を習得する必要性がある。この授業では、料飲部門の中でレストラン部門及び宴会部門で必要な什器備品の名称やサービス方法についてを学ぶ。また、この授業の成果を実習にて存分に発揮することができるよう、実践的な授業にて技術を磨く。						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			レストラン、バンケットサービスに必要な身だしなみや基本動作を学び、実践することができる。	
	○					レストランや宴会での接客用語や什器備品の名称を覚え、正確に答えることができる。	
			○			レストラン・宴会部門で必要な専門技術の方法を覚え、正確に実践することができる。	
	○					レストラン・宴会部門で必要な専門知識を身に付け、期末試験で合格点を取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本ホテル・レストランサービス技能協会監修 基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ホテルのレストラン部門、宴会部門について、身だしなみ、備品の場所				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	レストラン、宴会サービスでの基本姿勢と動作、接客用語				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	レストラン部門、宴会部門の組織、シルバークロスの扱いについて				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	チャイナウェアについて、グラスウェアについて				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リネン類について、什器備品の取り扱い方法と磨き方				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	オープン前・クローズ後の業務、テーブルクロスのかかけ方				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	実技試験				前回までの復習をしておくこと	
	8	レストラン、バンケット専門用語、正試験対策				正試験にむけて復習をしておくこと	
評価方法	(1)正試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	正試験	◎					50%
	実技試験		◎				50%
履修上の注意	受講の際はレストラン・バンケットスタッフとしての身だしなみを意識し、整えた上で参加すること。 出席が10回に満たない場合は、正試験の受験資格を与えない。						

科目名	ブライダル産業演習 I A						
科目名(英)	Bridal Industrial exercise I A						
単位数	1		時間数	15時間		担当者	中村 直輝
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) バンケットキャブ テン(3年) ドレスショップマネージャー(2年)
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	2回の実習(福岡近郊・全国)と就職活動に向けて、ブライダル業界の企業研究を行い理解を深め、業種などの特徴も知る。実際のブライダル施設を見学し見識を広げ職業理解も深める。						
授業形式	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ブライダル業界での職種・職場を理解し説明できる。	
		○				ゼクシなどの情報誌の見方を知り、自分自身で企業研究ができるようになる。	
	○	○				実習先及び周辺の施設を知る事で実習に生かすことができる。	
		○				ブライダル業界の求める人財を知り説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	2021ブライダルのお仕事 ゼクシ(福岡・佐賀版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ブライダル業界の職種理解を深める				ブライダルのお仕事「職種」の項を事前に読んでおく	
	2	ゼクシ活用法(ブライダル業界における職場の種類)				事前にゼクシを一通り目を通しておく	
	3	見学予定会場調べ(小テスト)				小テストを実施します。(ゼクシ活用法)	
	4	実習先調べ(施設・企業研究)①福岡市近郊					
	5	実習振り返り・土日インターンについて					
	6	ブライダル業界の求める人財について					
	7	ブライダル業界の求める人財について					
	8	実習先調べ(施設・地域・周辺情報)②全国					
評価方法	(1)授業の中で小テストを1回実施する (2)宿題・レポートを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート		◎		○		60%
	小テスト	◎	◎				40%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	サービス接遇Ⅰ									
科目名(英)										
単位数	2		時間数	30時間		担当者	東 まゆみ			
実施年度	2021		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーター勤務			
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科1年									
授業概要	サービス接遇検定2級、準1級合格を目指し言葉遣い、ビジネスマナーを学ぶ									
授業形式	講義: ○		演習: △		実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	△	○				商業用語を覚える				
	△	○				経済用語を覚える				
	○	△				サービス接遇検定2級合格				
	○		△			サービス接遇検定2級合格接遇検定準1級合格				
テキスト・教材 参考図書	・早稲田出版 サービス接遇検定2級公式テキスト、サービス接遇検定実問題集1・2級 ・ウィネット 実践ビジネスマナー									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	サービス接遇検定2級テキスト 六曜、慣用表現、ことわざP70～71								
	2	サービス接遇検定2級テキスト 六曜、慣用表現、ことわざP72～73								
	3	サービス接遇検定2級テキスト 定期刊行物、印 P74～76								
	4	サービス接遇検定2級テキスト 商業用語 P46～66								
	5	サービス接遇検定2級テキスト 社旗常識、長寿の祝い P68～								
	6	商業用語復習、確認テスト、金品管理					復習をしておく			
	7	経済用語復習、確認テスト					復習をしておく			
	8	サービス接遇検定2級過去問題 第47回、第46回								
	9	サービス接遇検定2級過去問題 第45回、第44回								
	10	サービス接遇検定2級過去問題 第43回、第42回								
	11	サービス接遇検定2級過去問題 第41回、第40回								
	12	サービス接遇検定2級過去問題 第39回、第38回								
	13									
	14									
15										
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)サービス接遇検定2級、準1級合格目指す(3)課題提出									
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	検定合格							20%		
	小テスト							50%		
	課題提出							30%		
履修上の注意										

科目名	Word							
科目名(英)	Word							
単位数	2単位		時間数		30時間	担当者	山田先生	
実施年度	2021年度		実施時期		前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年							
授業概要	Word2010を使用し、日本語の入力および文書処理能力を身につけ、ビジネスの現場で必要とされるレポートや報告書の作成活用能力の向上を図ることを目的として実施する。またビジネス文書作成の基礎的な技能を有していることを確認するためWord文書処理技能認定試験3級の合格を目指す。							
授業形式	講義: ○		演習: ○		実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
			○			キーボードの文字位置を覚え、キーボードを見ずにタイピングをする。		
		○	○			ビジネス文書の基本的な構成を組み立てる。		
		○	○			Wordの編集操作を行い、様々な書式のビジネス文書を作成する。		
テキスト・教材 参考図書	なし							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	正しいタイピング・Word基礎・文字入力・文字変換・文字修正					タイプクイックLesson1～6	
	2	正しいタイピング・Word基礎・短文入力・短文変換					タイプクイックLesson1～6	
	3	正しいタイピング・入力と編集					タイプクイックLesson1～6	
	4	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・基礎)					タイプクイックLesson1～6	
	5	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・表)					タイプクイックLesson1～6	
	6	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・図解)					タイプクイックLesson1～6	
	7	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・表・図解・イラスト)					タイプクイックLesson1～6 ⇒提出	
	8	検定対策(練習問題レベル1)					検定問題集の実施	
	9	検定対策(練習問題レベル2)					検定問題集の実施	
	10	検定対策(練習問題レベル3)					検定問題集の実施	
	11	検定対策(模擬問題レベル1)					検定問題集の実施	
	12	検定対策(模擬問題レベル2)					検定問題集の実施	
	13	検定対策(模擬問題レベル3)					検定問題集の実施	
	14	検定対策(サンプル問題)						
15	前期実技試験							
評価方法	(1)Word文書処理技能認定試験3級 (2)前期実技試験 (3)タイプクイック提出(Lesson6まで実施し、正確率95%とする) 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	Word文書処理技能認定試験		○	◎			50%	
	前期実技試験		○	◎			50%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は単位を与えない。操作技能が3級レベルに達しない場合は補講を実施する							

科目名	社会教養 I A						
科目名(英)	Social study I A						
単位数	1		時間数	15時間		担当者	東 まゆみ
実施年度	2021		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーター勤務
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科1年						
授業概要	学校のルールを学び、社会人になるにあたってのマナーを身につける。 就職試験のための作文の書き方を学ぶ。 実習についての意義内容を理解し、実習準備をする。						
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					学校のルールを学び説明できる。	
		○				作文の書き方を学び、課題の作文を書く。自己紹介シート作成	
				○		期日までに作文、自己紹介シートを作成する	
テキスト・教材 参考図書	学生便覧						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	学生便覧の内容を理解する					
	2	実習についての意義、実習内容、実習スケジュール説明					
	3	実習準備(ブライダル実習)					
	4	自己紹介シート作成・身だしなみチェック					
	5	実習用写真撮影・身だしなみチェック					
	6	実習準備(ブライダル実習)					
	7	実習振り返り(土日インターン説明)					
	8	今後の実習内容・就職活動の流れ説明					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)レポート(提出物)にて評価 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート(提出物)	○	○		◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位取得不可「D」となる。						

科目名	GCB I							
科目名(英)	Global Citizen Basic I							
単位数	1		時間数	15時間		担当者	東 まゆみ	
実施年度	2021		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーター勤務	
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科1年							
授業概要	自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーションなど、社会で生き抜くうえでの“人間力”の根本は、自分の環境における感謝の気持ちにある。日常生活の中で「与えられることが普通」と思ってしまう“他者依存”から脱却し、周囲との協働を保ちつつ使命感を持って行動できる自立心を目指す。							
授業形式	講義:		演習:		実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
			○			自分を取り巻く環境全てに感謝をし、自ら考え、気づき、行動に移すことが出来る。		
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシック I 感謝心と思いやりの教育(学生用テキスト)							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンを目指そう						
	2	「協働」の態度を持った学生生活					振り返りレポートの作成	
	3	よりより人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～					振り返りレポートの作成	
	4	マナーの本質 I					振り返りレポートの作成	
	5	マナーの本質 II					振り返りレポートの作成	
	6	グローバルシティズンとしての日常					振り返りレポートの作成	
	7	グローバルシティズンとしての目標					振り返りレポートの作成	
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて					振り返りレポートの作成	
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	レポート作成・発表	○	○		◎		100%	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位取得不可「D」となる。							

科目名	ブライダル実習A						
科目名(英)	Bridal internship A						
単位数	2		時間数	80時間		担当者	中村 直輝
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	2週間にわたって、ブライダル施設における就業体験を通して、職種理解を深めると共に、2年次のコース選択及び進路(就職活動)につなげる。結婚式場・ドレスショップ・ジュエリーショップの業務の流れ、基本知識を習得する。						
授業形式	講義:		演習:		実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ブライダルでの接客時に用いる敬語や言い回しを見え、実際にお客様と会話することができる。	
		○				ブライダル業界用語を学び、実習中にそれらを用いて社員とコミュニケーションをとることができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
			○			配属先の業務を覚え、業務に必要な技術を身につけることでお客様に接客できる。	
テキスト・教材 参考図書	各ブライダル企業の業務マニュアル、実習ノート						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1 ～	各式場・ショップでの実習					
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)実習ノート提出(学生と現場スタッフによるコメント記入 実習終了時の評価表)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習ノート・評価表・出勤状況	○	○	○	○		100%
履修上の注意							